

第15回 ちゅうでん教育振興助成（平成27年度）

報告書資料 一般-100

学校名・団体名	須崎市立新荘小学校
HPアドレス	<a href="http://www.kochinet.ed.jp/shinjo-e/index.html">http://www.kochinet.ed.jp/shinjo-e/index.html</a>
コース	学校支援
活動・研究 テーマ	キャリア教育の推進 ～自己表現力の育成をめざして～
<p>〈活動・研究の意義、目的〉</p> <p>〈研究発表〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◆「よりよい人間関係や豊かな生活を築く特別活動の創造」（四国地区特別活動研究大会）、「自己表現力の育成～コミュニケーション力を育てる授業研究～」（高知県特別活動研究大会）をそれぞれテーマに実施する。</li></ul> <p>〈学校行事〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◇防災関係の学校行事（地域ぐるみ防災訓練）、地域との触れ合い行事（ふれあいの集い、収穫祭）、</li><li>◇人権標語・作文発表会、音読・発表集会などを中心にキャリア教育の視点を踏まえて研究をする。</li></ul> <p>〈学級活動〉</p> <ul style="list-style-type: none"><li>◇話し合い活動、係活動、学級集会活動の活性化を図り、互いのよさや思いを生かしながら協力して意欲的に活動しようとする態度の育成に向けて研究する。</li><li>◇防災授業、食育授業の研究を通して、生きる力を育む。</li></ul>	

①研究授業（互いの良さを認め合い、共に高め合う特別活動）

研究主題「自己表現力の育成」をめざし、学級活動を中心として自己表現力の育成に取り組んだ。本校の考える自己表現力とは

- 学級活動を中心として、全教育活動の中で育てる。
- 自分の考えをもって話し合い活動に参加し、お互いに折り合いをつけることができる力
- 考えを表現する方法を自分で選び、場に応じて使うことができる力
  - ・言葉で伝える
  - ・絵や図を使って伝える
  - ・動作化する

である。そのために、4月の学級開きからスタートし、学級目標、学級会の名前、学級の歌を各学級で作りに上げてきた。研究授業としては次の内容で、講師を招聘し、実践研究を積み重ねた。

日時	研修内容（授業研）	講師
4/22	基礎学習・グッズづくり	土佐研特活部 石村 久子さん
5/13	ユニバーサルデザイン授業	元越知小校長 山中 千枝子さん
5/26	学級活動①（5年：合宿バスの中で、吾桑小学校の5年生と楽しく交流しよう）	國學院大學 杉田 洋 教授
6/3	算数科（わかあゆ：時刻と時間）	
6/11	学級活動①（4年：4年生みんなで学級の歌を作ろう）	土佐研特活部 石村 久子さん
6/25	学級活動①（6年：今までにない楽しい出店のゲームを考え、みんなに喜んでもらおう）	土佐研特活部 石村 久子さん 潮江南小 弘瀬直美主幹 五台山小 加藤利都教諭
7/8	学級活動①（2年：なかよしスポーツ大会をしよう）	中部教育事務所 高橋指導主事
9/11	学級活動①（3年：クラスがもっと楽しくなる係を決めよう）	土佐研特活部 石村 久子さん
10/14	学級活動②（1年：てをきれいに）	土佐研特活部 石村 久子さん
11/13	第12回四国地区特別活動研究大会 第48回高知県特別活動研究大会	國學院大學 杉田 洋 教授

<研究授業の様子>



合宿バスの中で、吾桑小学校の5年生と楽しく交流しよう（5年）



四国地区特別活動研究大会 開会行事



四国地区特別活動研究大会 発表集会（健康安全委員会）

②地域の方々との主な交流活動

◆ふれあいの集い（10月16日）

「新莊憩いの里」老人会のみなさんや新莊公民館のみなさんに来ていただき「ふれあいの集い」として交流活動を行った。

<ねらい>

- ①地域の人々とふれあい、いろいろな体験を通して、児童の豊かな感性を育てる。
- ②おじいさん、おばあさんとの交流を楽しむ。

児童からの希望をもとに7つの活動（木工・紙鉄砲・水鉄砲・竹とんぼ・手芸・おやつ作り・昔遊び）

を行った。どの活動も、名人さんの技ややさしさにふれながら、子どもたちは目を輝かせいきいきとした姿を見ることができた。活動後は、それぞれのグループできあがった作品の紹介と感想を発表し、来ていただいたみなさんに感謝とお礼の言葉を送った。

### <児童のお礼の手紙から>



・いち川さん、ふれあいのつどいのはきは、お手玉をおしえてくれてありがとうございます。あれからお手玉ができるようになりました。ありがとうございます。来年もよろしくおねがいします。

(2年・男児/昔あそび)

・ふれあいの集いではお世話になりました。僕は紙鉄砲を作るのが2回目で、去年より上手に作れて、去年よりもとんで、田部さんにほめてもらってうれしかったです。来年もぜひ来てください。

(5年・男児/紙鉄砲)

### ◆グループホームとの交流

学校近くにあるグループホーム新荘の里との交流を行った。各学年の趣向をこらした出し物の発表をし、高齢者の方とのふれあいの時間を大切にしている。ホームの方々も子どもたちが訪問するのを楽しみにしてくださり、訪問後はどの学年もどの子どもも温かい気持ちになった。体験を通して思いやりの心も育ってきていると感じる。



1年生は「おおきなかぶ」の劇をしました



4年生は音楽の発表や手遊び、肩たたきをしました

### 【成果と子どもたちの変容】

#### ○互いの良さを認め合い、共に高め合う特別活動の取り組みを通して

- ・実践活動を通して、児童が自主的に活動する姿や多様な考えを持つことができた。どの学級でもお互いの話を聞き、自分の意見を主張し、みんなで話し合う姿勢が育ってきている。
- ・司会や記録の役割を輪番制で全員が体験することで、どの子にも力がついてきた。
- ・お互いの意見を認め合い、そこから折り合いをつけ、自己決定していくという話し合い活動を通して、一人ひとりの成長が見られた。
- ・委員会活動の中でも、これまでの活動にひと工夫させることで、全校を巻き込んだ意欲的な活動につながった。環境美化委員会では朝や休み時間を利用して「縦割り班草ひき大会」計画し、楽しく環境整備に取り組んだ。また、抜いた草をはかりで計量し、校内に掲示したり、新聞記事に投稿したり、評価や情報発信にも工夫を凝らして取り組んだ。

#### ○地域との連携を深める取り組みを通して

- ・地域の子どもたちをみんなで守り育てていこうという意識が高く、様々な行事に対して非常に協力的である。地域の方とのふれあいを通して、子どもたちの「大切にされている」「認められている」気持ちが自然と養われているように思う。本年度は、出会いをより豊かにしていくために、お互いに名札を付けることだけでなく、名前呼び合うことを意識して取り組んだ。そのことで、日常的に地域の中で固有名詞で呼び合える、今以上に身近な存在として地域の人との出会いを仕組んでいけると感じている。



環境美化委員会の「縦割り班草ひき大会」の説明の様子



「縦割り班草ひき大会」の計量の様子